

「リコー ビンタンの森」 現地業務報告

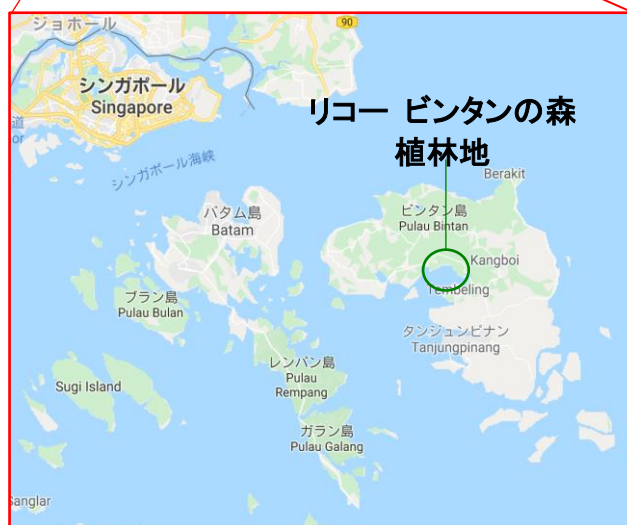
2021年12月（現地視察報告）

ワイエルフォレスト株式会社

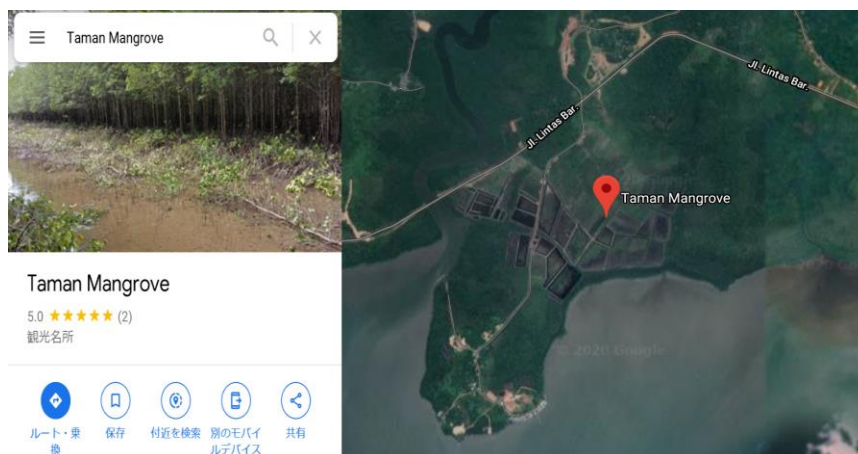
1. 植林現場情報

植林現場は、ビンタン島中央部にあるペナガ海峡に面した沿岸域に位置します。

プロジェクト名	「リコー ビンタンの森」
植林現場	リアウ諸島州ビンタン島ペナガ Penaga, Teluk Bintan, Bintan Regency, Riau Islands
GPS 情報	1° 03'27.5"N 104° 25'43.1"E GoogleMap ; (https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7)
面積	約 11 ヘクタール (106,678 m ²)
土地	養殖池跡地。 YLF が土地を所有する住民と提携し事業実施。



上記表中に記載の GoogleMap の URL(<https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7>)から、以下の地図が開きます。



植林現場は、4つに区画分けされた養殖池跡地で合計約 11 ヘクタールあり、各々の池面積は以下の表の通りです。



植林地番号	平方メートル(m ²)	ヘクタール(ha)
B	20,813	2.0813
C	37,682	3.7682
D	34,783	3.4783
E	13,400	1.3400
合計	106,678	10.6678

2. 現地視察報告

視察日時	2021年12月7日(火) 14:00~15:45																																																		
天候	晴れのち曇り																																																		
潮見表	<p>下記表は12月7日の潮見表であり、赤枠で囲んだ時間帯が、視察を実施した際の潮の高さです。視察を開始した14時時点では潮高2.1mと高めであったが、視察を進めるにつれ潮が引いていった。</p> <table border="1"> <tr> <td></td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>J</td> </tr> <tr> <td></td><td>2.4</td><td>2.1</td><td>1.8</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.7</td><td>2.0</td><td>2.3</td><td>2.6</td><td>2.7</td><td>2.7</td><td>2.5</td><td>2.1</td><td>1.5</td><td>0.9</td><td>0.4</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.5</td><td>0.9</td><td>1.4</td><td>1.8</td><td>2.2</td><td>7</td> </tr> </table>		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	J		2.4	2.1	1.8	1.5	1.5	1.7	2.0	2.3	2.6	2.7	2.7	2.5	2.1	1.5	0.9	0.4	0.2	0.2	0.5	0.9	1.4	1.8	2.2	7
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	J																											
	2.4	2.1	1.8	1.5	1.5	1.7	2.0	2.3	2.6	2.7	2.7	2.5	2.1	1.5	0.9	0.4	0.2	0.2	0.5	0.9	1.4	1.8	2.2	7																											

植林地 B

植林地 B は、2020年3月の植林分と2020年9月の植林分の一部が植えられており、約21,000本のマングローブがある。現在マングローブは植林後、約1年9ヶ月と1年3ヶ月になる。



2020年3月に植林したマングローブ。順調に成長している。最初の植林でほとんどのマングローブが活着している。



マングローブは腰の位置まで成長しており、樹高はおよそ80~90cm程であり、葉は20~24枚程成長している。



植林時に下草刈りを行ったが、現在はまだ雑草が生えているが、植林したマングローブの方が樹高が高くなっているため、マングローブの成長に影響はない。



植林したマングローブが、縦列にきれいに並んでいる様子がわかる。これは植林したマングローブが枯れたり抜落ちたりすることなく順調に成長していることがわかる。



赤円中の右側に曲がって枯死したマングローブがあるが、その横に補植の行っている様子がわかる。



写真の赤ラインを境にマングローブの大きさが違うことがわかる。これは手前が2020年3月に植林したもので、奥が2020年9月に植林したものの。



こちらは2020年9月に植林したマングローブ。樹高およそ50~60cm程、葉は8~10枚程。



こちらも縦列にきれいに並んでおり、植林した本数が順調に成長している様子がわかる。

植林地 C

植林地 C は、2020 年 9 月の植林分の一部と 2021 年 3 月分の植林の一部を植林し、約 38,000 本のマングローブがある。現在、植林したマングローブは植林後約 1 年 3 ヶ月と約 9 ヶ月になる。視察中に潮が引き始め、また栈橋を架けてくれていたことから、今回初めては植林地 C の中に入り視察することができた。



赤丸で囲んだものが今回設置された栈橋。池の内周の水路部分は 1m 以上の深さになっているため、マングローブを植林した盛土部分に渡るためには栈橋が必要。奥側にあるマングローブが 2020 年 9 月に植林したマングローブで、手前側が 2021 年 3 月に植林したものの。



こちらは 2020 年 9 月に植林したマングローブ。樹高およそ 50~60cm 程、葉は 6~10 枚程。マングローブの葉の枚数に差がある理由は、個体毎の成長速度もあるが、一定期間で古い葉は落葉しました新しい葉が出るためである。



縦列にきれいに並んでおり、順調に成長していることがわかる。





こちらは植林地 C 全体を、リコー様から頂いた THETA S 360° カメラで撮影したもの。写真の色彩がとてもきれいでした。まだマングローブが小さいためはっきりとは見えないが、数年後の撮影が楽しみである。



こちらは 2021 年 3 月に植林したもので葉が 4 ~6 枚ついている。



マングローブ同士の距離をメジャーで測定し、約 1m の間隔であった。指示通りにきちんと植林されている。



葉が 4 枚ついている。



植林地 D

植林地 D は、2021 年 3 月植林分の一部と 2021 年 9-10 月植林分の一部を植林したマングローブで、約 35,000 本のマングローブがある。植林後約 9 ヶ月と 2 ヶ月になる。



植林地 D には自然に活着したマングローブも所々に生えている。



植林時に下草刈りを行っていたが、雨季に入ったことにより雑草もまた生えてきている。



遠くからの写真撮影と周りの草によりやや見づらいが、植林したマングローブが確認出来る。



フタバが確認出来る。これは 2021 年 9 月に植林したもの。



奥の方には、2021 年 3 月に植林したマングローブがあり、葉が 4~6 枚ついている。

雨季の降雨により下草が元気に再生し始めている点为抓手りであるが、現在までの植林地 B や C においても下草が生えてきてもマングローブの成長がそれを上回り順調に成長してきたことから、この植林地 D においても今後の経過を見守っていく予定である。もし活着できなかった場合には、従来通りマングローブの補植を行い、最終的なマングローブの本数は維持する。

植林地 E

植林地 E は、2021 年 9-10 月植林分の一部を植林しており、約 14,000 本のマングローブがある。植林後約 2 ヶ月になる。当初の計画では、2021 年 9 月植林分の残りの一部は植林地 A に植林する予定であったが、地元林業局の行政プログラムの一環で、植林地 A が使用されたことから、急遽新たに植林地 E を選定し植林が実施された。9 月の植林分が 10 月にずれ込んだ理由は、急遽行う事になった土地造成と植林の作業が、長雨によりなかなか思うように作業ができなかったからとのこと。

こちらも栈橋がなかったため、池の中に入っての視察はできなかった為、ドローンを使用したの視察となった。



植林地 E の様子。土地が造成され水路が作られている。



植林時に下草刈りを行ったが雨の影響でまた草が生えてきている。多く見えている緑葉はマングローブではなく、下草。

以上